

# 令和5年第12回定例会会議録要旨

- ◆ 出席委員      荒木幸一      海老原千浩      山本憲一      陶山光秀      日高まり子
- ◆ 欠席委員      なし
- ◆ 出席職員（事務局）      三好秀敏      佐藤利明      尾上光      川添卓哉      森崎里枝
- ◆ 会議録署名委員指名      海老原千浩
- ◆ 教育長報告要旨（12月1日～12月31日行事結果）
  - 12月3日（日）      第29回青少年健全育成町民大会
  - 12月5日（火）      市町村対抗駅伝競走大会結団式
  - 12月8日（金）      第4回定例会招集（議会）
  - 12月12日（火）      一般質問

## 県教育委員との意見交換会

一般質問では、社会教育施設のバリアフリー化についての質問がありました。

教育長      私からの報告は以上です。それでは、県教育委員との意見交換会での感想をお願いいたします。

教育委員      東諸、宮崎市、日南、串間の方々が集まって、4チームに分かれて、それぞれのグループで課題を選び、対策を考えるという活動がありました。4つのグループとも取り上げた課題が「不登校について」でした。どの班も、不登校に対する今後の対策を考えていかないといけない、というふうにお話をされていました。幼保の連携と、地域と行政がしっかり間に入って取り組まないと、不登校は減らないのではないかと思います。また、学習保障が今後どうなっていくのか不安ということもあります。不登校に対しては、学校だけでは負担がかかりすぎるので、なかなか対応ができないのではないかと、だからこそ地域の方々と一緒に取り組んでいくべきなのではないかと、というお話がありました。ICTに対しても、市町村の差、学校の差、先生同士の差が問題ではないかということで、それについても、国富町でどのようにしているかを私たちもしっかり聞いておかないといけないなと感じました。意見交換会への参加が初めてだったので、すごく不安だったのですが、あっという間に2時間が過ぎてしまって、皆いろいろな意見が出てすごく楽しい時間でしたし勉強になりました。懇親会でもいろいろな方とお話しする機会があり、悩みとしては市町村どこも同じような悩みを抱えていたのですが、それに対していろんな話をする事ができたので、とても良い時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

教育委員 参加させていただきありがとうございました。いろんな地区の方との交流ができました。県教委については、学校訪問をはじめ、研究しているところへの視察等を積極的に行っている印象でした。弁護士や会社の社長などいろいろな職業の方がいらっしゃいました。前日に資料をもらったのですが、綾町の資料がびっしり書かれていて、慌てて国富の資料を持っていったところでした。教育的な課題は共通でどこも一緒に、他市町村がどのようにしているのか、他市町村のやり方を取り入れながら取り組んでいくことが大切かなと思います。コミュニティスクールの活用についても出ていて、国富町でも取り組んでいる部分で、国富町の宣伝としては、地域がまとまれる大きさと、どういう教育がされているかがよく見えるところをアピールできたかなと思います。SNSの問題については、地方とか都会とか関係なく非常に大きな問題であると認識しています。教師の専門性と、保護者、地域との信頼関係の築き方、多様化への対応力、感性を高める教員の養成など今後考えていくべき課題について考えることができ、私たちが教育委員として教育現場と繋がっていく必要性を感じました。自分で情報を集めたり、保幼小連携についても現場での経験を活かしていけるように努力したいと思いました。会議に行かせていただいて、貴重な時間をありがとうございました。

教育長 感想を話していただきましたが、なにか質問等はございませんか。それでは続きまして「その他（１）行事予定について」ご説明をお願いします。

#### ◆その他

◇行事予定について 各課行事予定表に基づき説明

教育長 ご質問等はありませんか。１２月議会で給食費の補正がありましたので、調理場所長に説明をお願いします。

調理場所長 １２月の議会で給食費の補正予算を３８６万７千円計上しております。今年度当初からすると、９月末の段階で約７％食材が物価高騰しております。国富の給食は常においしいと言われていますが、栄養士も工夫しながら調理していますがどうしても補正をせざる得ない状況でした。食材費の予算は全体で８千９百万円ほどになると思います。そのうち約３０％弱が町負担になります。保護者負担は小学校が２０９円、中学校が２４１円で据え置いています。当初予算でも今年同様の金額であげたいと考えています。

教育長 ありがとうございました。その他ご質問等ございませんか。

教育委員 はたちの成人式の参加人数を教えてください。

社会教育課長 今回の対象者は男性が１０１名、女性８２名の合計１８３名が対象です。現時点

で出席の返事をいただいているのが男性55名、女性51名の合計106名です。総数のうち60%を切る程度の参加となる予定です。

教育長 その他ございませんか。

教育委員 学校のマラソン大会の件で、八代小学校の保護者の方から聞いたのですが、今回まとめて1校時に全学年実施されたようで、保護者としては大変助かるという声を聞きました。これまでは例年、学年ごとに時間を分けて行っていたようですが、今年初めて全学年同時に開催してもらったおかげで、兄弟の多い保護者は特に助かったようです。保護者から感謝の声があったことを、八代小学校の校長先生にお伝えいただけるといいかなと思いました。

教育長 伝えておきたいと思います。その他はありませんか。それでは続きまして「その他」についてお願いします。

教育総務課長 ご報告になります。12月の追加議案で物価高騰に対する支援ということで、物価高騰対策臨時入学等支援金という名称で予算を計上しております。目的は、令和6年4月に入学を迎える小・中・高の新1年生の児童生徒を対象に、一律1万円を支給するものです。物価高騰が継続していることと、入学時は特に費用が多くかかることもあり、今回臨時的に支給することになりました。1月から事務手続きを始めて、2月中にはすべての対象児童の保護者に振込を完了したいと考えています。対象児童は455名で、事務費用なども含めて予算は500万円ちょっとになっております。

教育委員 来年度の学校の行事が決まっていくと思うのですが、学校と地域の関わりがかなり減っているように思います。コロナ渦もあったので仕方ないとは思いますが、以前のように戻すのか、形を変えて新しいやり方に変えるのか、やり方はいろいろあると思うのですが、学校と地域がもっと絡み合うように戻してからコミュニティスクールを開始する方がスムーズに行くのではないかなと思います。校長先生や教頭先生の判断かもしれませんが、学校と地域が連携した取り組みを来年度の行事計画に少しずつでも入れて欲しいです。寂しいなという思いがあります。

教育長 学校によって差がありますよね。八代小学校はどんどん開いて行って、地域の方、保護者の方との交流を深めているように感じます。木脇と八代は小中が同じ場所にあるので同じ地域、同じ保護者なのですが、本庄地区についてはコミュニティスクールをどういうふうに進めていこうかなというところですか。あとは普段の関わりもありますよね。地域の方の協力を得ながら、地域あつての学校という意識を持って欲しいなと思います。また校長会で話します。

教育委員 特別支援学級が増えるというお話だったのですが、自情学級と知的学級があっ

て、そのどちらに入れるかという判断や、自情学級から知的学級への移行などについて、校内では特別支援委員会やコーディネーターが入ってやっていると思うのですが、その辺の状況がどうなのか、子どもの数は減っているのに学級数は増えている背景をどのように捉えていけばよいでしょうか。

教育長 在籍の変更については若干名でした。来年は本庄小に今5クラス自情学級があるのですが、1増設することになりました。また、八代小に知的学級を1増設します。通級指導と言って、通常学級に在籍しながら学習に対して困り感を持つ生徒に対応するために、本庄小と木脇小に1学級あるのですが、本庄小を2に増設し、1人は森永と八代をカバーするようなかたちで巡回していく予定です。中学校は今まで通級指導はなかったのですが、本庄中に2新設、1人は八代中と木脇中をカバーしていく予定です。どうして特別支援学級が増えているのかというのは、なかなか難しいです。国富町は5歳児健診で見立てを立てていることもありますけど、それが理由かどうかは分かりません。自情学級の子も達は、中学校になったら通常学級を希望されることが多いのですが、高校進学を考えたときに通常学級が良いということでそうなっているのですが、果たしてそれが良いのかどうか、ある程度の発達課題がクリアできたときに、小学校の5、6年生で通常学級に在籍変更していくとか、そこができていない小学校とできていない小学校があります。これからしっかりと特別支援学級体制を考えていかないといけないなと考えております。

教育委員 特別支援学級が増えるほど先生たちがご苦労されてるのではないかと思います。特別支援学級の先生たちを学校のなかでどのように支援していくか、学級の担任になる先生のご苦労を学校全体で共有するために、校内特別委員会みたいなものがあると思いますが、ある先生に負担がかかるのではなく、先生たちをサポートしていくためにも、支援学級が校内で活かされるものになっていくといいのかなと思います。

教育長 特別支援教育の専門家はなかなかなくて、今まで支援学級を持ったことのない先生や講師が担任をすることが多いです。子どものアセスメントも専門性が高くないので、それもできていないし、特性なのか後天的な行動なのかも判別が難しいし、どのように対応していくかは非常に難しい課題です。ただ、先生がメンタルダウンするといけないので、なんらかの手立てを考えないといけないと思っています。木脇小に専門性の非常に高い先生がいらっしゃるのので、この先生を特別支援のリーダーにしながら今後取り組んで行けないかなと考えています。そういったことも含めて、これからの学校のあり方を考えていきたいと思っています。他にはございませんか。それではこれで定例教育委員会を終わります。

(閉会午後3時50分)